

# 三水会会報

北里大学水産学部  
同窓会会報  
第 39 号

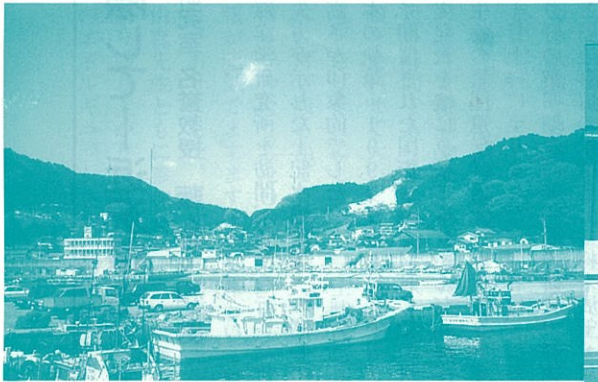
平成12年3月1日発行

編集者 川添一郎

発行 三水会（北里大学  
水産学部同窓会）

事務局 〒246-0031神奈川県横浜市  
瀬谷区瀬谷5-22-1  
☎045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行  
大手町支店  
008-1182388



崎 浜 港



崎 浜 街 並

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 研究室OB会出席に際してー近況報告 | （名誉教授 藤野和男先生） |
| 魚類生理学研究室OB会発足会顛末  | （2期生 田代 茂年）   |
| ミレニアム水産学部教員紹介     | （5期生 高橋 明義）   |
| 就職ガイダンスに出席して      | （20期生 神谷 実香）  |
| 第27回漁火祭報告         | （実行委員長 谷水喜代子） |
- 平成10年度卒業記念品購入代金残金の使途について

## 見たい、知りたい、話したい

- ・事務局からのお知らせ
- ・「サケ科魚類がわかる本」を出版します
- ①平成11年度三水会定期総会
- ・訃報
- ②三水会20周年記念講演会
- ・編集後記
- ③大募集（秘蔵写真、資料）

『三水会設立20周年記念講演会・親睦会』のお知らせ（実行委員）

# 研究室OB会出席に際して—近況報告

魚類生理学研究室 名誉教授 藤野 和男

1972年4月相模原校舎に迎えた第一期生が卒業(1976年)、1982年7月水産学部十年史刊行、翌1983年3月水産学部便り発刊を経て、第14期生が学窓を巣立った。1999年の秋、魚類生理学教室のOB会発足の報に接した。当日、白金の大学本館会議室に久方ぶりに参上、社会の中心で活躍中の諸賢に接し、身心共に若返る想いをしました。その折の「近況報告」の要旨を、添削の上ここに再現します。

研究活動など、在来の「海洋野生・養殖動物の集団遺伝学」並びに「養殖の支援技術開発」研究の継続です。1991年3月定年退職、第16期生と同期に三陸校舎を離れた後、上記中後者に当たる「半閉鎖式循環水槽の開発研究」を、島根県隠岐島で3年間継続実施し、大学在職中夢見た所期の目的をほぼ達し得たと考えています。今秋開催予定の国際会議での報告に向けて目下作業続行中。ドイツのキール大学教授との共同研究です。1992年6月ソ連崩壊直後、ロシアからの招聘に応じてウラシオストック所在の極東東

海洋学研究所を訪問、講演を行った折先方が示した上記水槽開発への関心の高さが印象的でした。

本の執筆・1997年9月、イタリアで開催された国際会議IMBCでの研究発表を機に草稿に取り組んだ「海洋生物の集団遺伝学研究」が1999年1月上梓に至りました。内容は、この分野の黎明期から50年間の研究の経緯と周辺事情の総括そして将来展望。対象生物はクジラとカツオ。執筆の背景と趣旨は、①西暦2000年が、人類集団遺伝学上当初から遺伝的指標として用いられてきた人類ABO式血液型発見(1901)から100年目に当たり、学術分野の壁を超えて記念すべき年に当たること、②国連海洋法条約の批准に伴う漁業を周る厳しい国際環境への対応の適正化に資する為、「漁業

大国としての責任の自覚とリーダーシップ発揮へ向けての具体策確立の緊急性」の提言です。空論を避け、既往の研究結果に基づき具体的に述べてあります。目下、続編「養殖動物の集団遺伝学(仮題)」を執筆中。

受賞・1999年、下記の2件の通知

を受領。1969年在米中の業績賞(Superior Performance Award, U.S. Dept. Interior) 受賞から30年目です。

① 2000 OUTSTANDING SCIENTIST IN THE 20<sup>TH</sup> CENTURY (英国) ② THE ASIA 500 LEADERS IN THE NEW CENTURY (米国)。その他、熊本県水保市における、有機水銀汚染問題補償の合意に伴う地域産業の振興計画の一環として、アワビの

陸上養殖事業の展開にアドバイザーとして協力。論文別冊の交換に加え、emailを活用し海外との交流実施中。海への向うの旧知から最近寄せられたメッセージ「Dream comes true」は最高の喜びです。次の夢実現へ向けて情報収集に努力中。OB会・三水会報の編集幹事ほか関係諸氏のご配慮に感謝し、今後のご協力を願ひ上げます。(2000年2月2日記す)



中央：藤野先生、左：山森教授、右：天野講師

# 魚類生理学研究室OB会発足会顛末

世話人代表 2期生 田代 茂年

魚類生理学研究室のOB会発足を去る平成11年11月13日に東京白金の北里本館にて開催しました。

世話人からの簡単な挨拶の後、山森先生、藤野先生にご講演をお願いしました。

山森先生は三陸の近況報告と毒研究について講演され、大変興味深く聞かせていただきました。また、先生は学生課長も兼任され、近年の就職大氷河期を嘆いておられました。本当に厳しい現況であり、ご苦労されております。

続いて、藤森先生はこれまでの研究の総まとめについて講演され、平成12年にはオーストラリアのクイーンズランドで開催される第五回マリンバイオテクノロジー学会にて講演されるとのことです。藤野先生が手がけられてきた研究は、野生動物の資源管理として有用なものであります。日本国内ではその評価をちゃんとできるには至っていないようですが、欧米において絶大

なものがありアメリカから21世紀におけるアジアの水産科学者のリーダー500人、イギリスから20世紀における功績ある科学者2000人の中に数少ない日本人科学者として挙げられているほどです。

この後に奥村先生の講義も予定していたのですが、時間の都合上割愛してしまい誠に申し訳ありませんでした。この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

両先生のご講演の後、ささやかではありますが懇親会を行いました。本当に短い時間でありましたが、久しぶりに顔を会わせて大いに歓談し盛り上がりました。それにしても、学生時代に比べれば、腹も出て、頭も白くなったり薄くなったたりしたOBより、先生方の報が元気でますます意気軒昂という感じでありました。二次会への藤野先生、山森先生ともに参加され、大いに飲み語り盛り上がりました。本当に両先生のエネルギーが素晴らしい行動には感謝感

激でありました。

今回は、連絡が不十分で参加人員も21名と少なかったが、遠く北海道からの出席OBもあり、今回の開催に向けての手応え十分でした。次回には魚類生理学教室OB五百数十名のうち、多くの方に参加してもらいたいと思います。

最後に本会の開催についてご尽力いただきました三水会本部理事の皆様、事務局を担当していただいた石井ご夫妻、さらに三陸から援護射撃していただきました奥村講師のご協力に対し、心より感謝いたします。

後援会後の親睦会



主題『プレミアム水産学部教員』紹介……5期生 高橋明義

水産増殖学科教員紹介

環境・生態学講座

魚類生理学講座

水族病理学講座

水産増殖学講座

海洋基礎生産学講座

井田 齊 教授



林崎 健一 講師



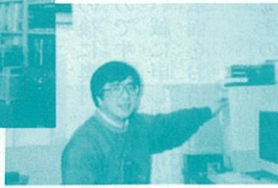
朝日田 卓 講師



山森 邦夫 教授  
(学生課長)



奥村 誠一 講師



天野 勝文 講師



渡邊 翼 教授



厚田 静男 講師



中村 修 助手



岩田 宗彦 教授



千葉 洋明 講師



山田 英明 講師



小河 久朗 教授  
(学科長)



難波 信由 講師



加戸 隆介 助教授



水産食品学科教員紹介

水産食品化学講座

長久 英三 教授

菅野 信弘 助教授



横山 雅彦 助手



児玉 正昭 教授  
(学科長)

佐藤 繁 助教授



小滝 裕一 助教授



水産生物化学講座

神谷 久男 教授  
(学部長)

酒井 隆一 助教授



神保 充 助手



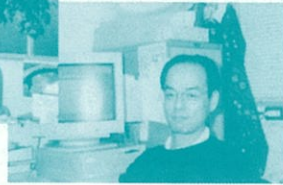
水産資源化学講座

川内 浩司 教授

高橋 明義 助教授



森山 俊介 講師



海洋分子生物学講座

緒方 武比古 教授

小池 一彦 助手



水産微生物学講座

予函携 | には月月この  
定書大 | ト改水か末の  
で館回を | 組産ら名  
す。の院 | はを切 | され生はも  
。名事、 | 職、 | ます、 | 科こ | です平  
簿務、 | 語 | た | 科 | 科 | 成  
を | 室 | 語 | 一 | 一 | 二  
掲 | 載 | 学 | 学 | 学 | 年  
載 | する | 連 | 夕 | 科 | 年  
する | び | 連 | 夕 | 科 | 一

## 就職ガイダンスに出席して

20期生 神谷 実香

私は高校・大学とワンダーフォーゲル部で活動しました。そんな自分自身の登山経験からどんなことがあるとう自分の足で歩かなくてはいけないと強く感じるとともに、自然と向き合う仕事に従事したいと感じ、第二の故郷である三陸を後にしてかれこれ5年の月日が経ちました。私が就職した会社は

俗にいう環境調査を実施する会社でした。女性の技術職として初めて採用された私は、男性に混じっての仕事に困惑しつつも持ち前のガッツで乗り切ろうとがんばってききましたが、困惑していたのはむしろ周りにいる諸先輩の方だったかもしれません。何しろ入社したことによって宿泊の際には1部屋を余分に取らねばならないばかりか、腕力も男性に比べれば当然劣ります。また、川に入っている作業では体重が軽いつ、水に流されやすく、随分と先輩方にご心配をお掛けしましたが、やさしい先輩のご指導とご理解のおかげで今まで無事に勤めることが出来たように思います。

今回の就職ガイダンスでは、OBの先輩達に混じりあたふたしましたが、私自身の「就職」をあらためて考えさ

せられた貴重な旅となるばかりか、愛する井田先生や友人、お世話になった三陸町の人々に久しぶりにお会いでき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。現在、私は会社を辞め、愛知の実家で両親に自分自身を見つめ直す時間を頂いております。今思えば、当初予想した現場の仕事よりもデスクワークの方が多く、「自然と向き合う仕事」というよりも「人が作り出した物の点検」ということが多かったように思います。

今後、就職活動を予定される学生のみなさんは卒業した先輩方に現場のお話を聞いた上で自分の目標や働く環境に合っているかどうかを確認することが重要ではないでしょうか。

私は近々名字が変わって家庭に入る予定です「就職活動」に立ち向かっていくみなさんの健康を心よりお祈りしております。



## 第27回 漁火祭報告

第27回漁火祭実行委員長 水産学部3年 谷水 喜代子

今年の第27回漁火祭は、前夜祭を含め、10月15、16、17日の3日間に渡り開催されました。特に16、17日は晴天に恵まれ、例年以上の数の人々が足を運んでくれました。

今年の漁火祭実行委員会は昨年に引き続き「地元の方々と交流を深めよう」というコンセプトでたち上がりました。当日、地元の方が漁火祭へ来てもらえるように努力（PR）するのはもちろん、それ以前に、まず実行委員が地元の方と多く接する為に走りまわりました。そうして、三陸町や大船度、釜石市等の様々な方々と接していくうちに、たくさんのお話を学び、また、親身になって協力応援頂きました。漁火祭のイベントの中で特に盛り上がったのは、大船度農業高校の生徒による大農太鼓と、マンボウの解体ショーでした。どちらも初めての試みでしたので不安もありましたが、大盛況に終わりました。後夜祭も無事に終わり、漁火祭は大成功でした。

しかし、様々な方面から賛否両論の意見を頂きました。反省する点も多々ありました。これからのことが来年へ生かされればまた一段と素晴らしい漁火祭になると思います。今年の漁火祭は、我々の当初のコンセプトに沿ったものであったと確信しています。

### 水産学部学生課からのお知らせ

#### ①平成10年度卒業記念品購入代金残金の用途について

平成10年度卒業記念パーティー実行委員会は卒業記念品としてテント3張を購入し、水産学部に贈呈しましたが、単価が予想より低かったため多額の残金（258,576円）が出てしまい、その用途について学生課が相談を受けました。学生課としては、まだテントが不足していることから、この残金をテント購入資金として水産学部北里会に繰り入れるように指導しましたことをご報告いたします。

(学生課長 山森邦夫)

## 事務局からのお知らせ

### ①平成12度三水会定期総会

下記により平成12年度総会を開催致します。役員、代議員の方はもとより一般会員の方も傍聴できます。

《開催日》平成12年5月13日(土)1:30~2:30

《開催場所》北里大学薬学部E号館802会議室(白金校舎内)

《協議事項》平成11年度事業報告・収支決算、平成12年度事業計画案・収支予算案、その他

《三水会代議員改選について》

一代議員推薦のお願い

本年5月の総会において、代議員・役員の方の改選が行われます。つきましては、代議員の推薦(自薦、他薦)を下記により受け付けますので、氏名、卒業年、学科、卒論講座名、住所、連絡先電話番号、他薦の場合は推薦者名をご記入のうえ、葉書またはFAXで、事務局あてにお送り下さい。

代議員資格：三水会正会員 推薦受付期限：平成12年3月31日

### ②三水会20周年記念講演会

毎年行なっております関東地区親睦会は、池袋サンシャインシティにおける記念講演会、同、国際水族館での親睦会となります。恩師をお迎えし、OB会や、各親睦会の協力も得まして取り行ないます。皆様のふるっての御参加をお待ちしています。

\*参加申込等は、P8をご覧ください。

### ③大募集

次回9月発行の第40号三水会会報は、20周年記念号となります。水産学部の歴史を見つめながら同窓会の歩みを振り返ってみたいと思います。会員の皆様、秘蔵の思い出の写真、資料等がございましたら、記念号の中で紹介させていただきます。

(写真、資料等は必ずお返し致します)事務局までご一報下さい。皆様のご協力お願い致します。

## 「サケ科魚類がわかる本(仮題)」を出します。

8期生 奥山文弥

お元気ですか?今回はちょっと宣伝させていただきますね。フィッシングジャーナリストとして仕事をしている私は今、「サケ科魚類がわかる本(仮題)」という書籍を執筆中です。内容はサケ科の魚類の分類、検索、サケ、マスの生態。そして養殖知識までを網羅した世界初の試みです。読んでわかりやすい参考書的なつくりをしています。図鑑としても役立ちます。共著になんと生態学研究室の井田齊先生が加わっていますので、「学問と釣り」を融合させた面白い本になりそうです。大学周辺の水域にて採取した珍しい魚も登場します。みなさんご期待ください。山と溪谷社から5月発売予定です。

### ●訃報のお知らせ

関一久さん(6期生)が平成11年11月、飛松尚孝さん(2期生)が平成12年1月に逝去されました。謹んでご冥福を、お祈り申し上げます。

編

藤野先生と電話でお話しをする機会をえました。先生は精力的に研究活動を続けられております。昨年は米国と英国から名誉ある賞を受賞されております。夏期の執筆活動は、暑い東京を離れて大船渡のお家でされております。大船渡までは、先生ご自身で車を運転され、御自宅の練馬からノーストップで行かれるそうです。

集

奥山文弥(8期生)さんと井田齊先生がスズキとサケ科魚類の生態調査を目的にスペインを紀行したNHK番組を見ました。奥山さんと井田先生の魚の生態に対する真摯な態度に共感を得ました。

後

記

本年は、三水会設立20周年記念事業として、池袋サンシャインシティにて講演会と親睦会を行います。11月4日サンシャイン国際水族館で会いましょう。

## ❖ 三水会設立20周年記念講演会・親睦会 開催のお知らせ ❖

日一日と春の日射しがまぶしい頃となりました。いかがお過ごしですか。

さて、この度会員の皆様のおかげを持ちまして、三水会は、今年で発足20周年を迎える事になりました。これを記念するため、広く会員同志の親睦を図るとともに水産学部のPR等を目的とした記念講演会及び親睦会を、北里大学同窓会の協力を頂き下記の通り開催する事になりました。

会員の皆様には御家族連れ、また同期、先輩、後輩等でお誘い合わせの上、多数のご参加を頂きますよう宜しくお願い致します。なお今回の行事には水産学部の先生方もご案内する予定ですので各研究室OB会も御一考頂ければ幸いです。

### 記

開催日：平成12年11月4日（土）

#### ＜第一部 記念講演会＞

場所：池袋サンシャインシティ文化会館5階（501会議室）

時間：午後4：00～6：00（受付午後3：00～3：50）

参加費：無料

内容：「人間と海、そして自然」を語る

①北里大学水産学部 井田 齊 教授「魚から見た自然」

②タレント 清水 國昭 氏「アウトドアの心得」

#### ＜第二部 20周年記念親睦会＞

場所：サンシャイン国際水族館 池袋サンシャインシティワールドインポート（10階）

時間：午後7：00～9：00（貸切り）（受付午後6：30～）

参加費：会 員 1万円（1名）

会員家族 5千円（3名まで）、以後1名につき2千円増

準会員 5千円（1名）

申し込み：同封の郵便振込用紙での参加費納入で申し込みとさせていただきます。

問い合わせ：三水会事務局 TEL・FAX 045-303-3135

### ★実行委員会よりお願い★

会員の皆様より寄付を受付けております。当日都合で参加出来ない方や遠方の方、又会社経営されておられる方、又自社のPR等をされたい方、三水会会報（約5,000部）にて御紹介させていただきます。

振込用紙にそれぞれの出身研究室名をご記入下さい。金額は自由です。尚、自社PRされたい方は事務局までご連絡下さい。

#### 《OB会・各親睦会コメント》

##### ◎環境生態学研究室

恩師井田先生が講演されますので、ぜひ参加してください。二年ぶりの再会を楽しんでいます。

4期 高橋 利明、9期 中村 栄

◎利用学研究室 皆で参加しましょう。

6期 立原 康弘

##### ◎魚類生理学研究室

20周年、サンシャインで会いましょう。

2期 田代 茂年

◎千葉の会 全員参加でお願いします。

##### ◎小林先生を囲む会

当日は信州より先生をお招きしてあります。皆様先生を囲み語り飲みましょう。2期生 田村 治

##### ◎基礎生産学研究室

小河先生と平野先生の師弟のコンビを囲んで皆で楽しく飲みましょう。

17期生 田中 和義

##### ◎水産生物化学研究室

今回の記念行事は、研究室の卒業生や先生方が集まる企画です。

6期生 河村 尚之

##### ◎水産微生物研究室

20周年だよ！家族連れで全員集合！！今年のOB会は、これできまり！

3期生 佐藤 敏行